

第116回（2022年12月度）監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純
(文責：松下 洋二)

1. 開催日時 2022年12月14日(水) 午後2時00分～午後4時50分
2. 開催方法・場所 オンライン（ZOOM）方式
講師は自宅より解説
司会（委員長）は自宅で進行
委員は自宅等で会議サポート
3. テーマ 監査懇話会が編集する出版物「最新監査役の実務マニュアル」の解説
4. 講師 監査役実務マニュアル委員会委員長 堀田 和郎氏
5. 出席者 30名
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールでオンライン参加案内とともに添付ファイルで送付)
「最新監査役実務マニュアルの紹介」監査懇話会監査役実務マニュアル委員会委員長堀田和郎
「最新監査役の実務マニュアル全項目一覧（2022年追録第12号13号）2022年12月14日監査技術ゼミ用」
「新日本法規出版 LEAGAL CONNECTION へのアクセスと操作方法（パスワード更新のお知らせ）」監査懇話会監査役実務マニュアル委員会 2022年10月1日更新
7. 議事次第
 - 1) 運営委員長より開会の挨拶
菊谷運営委員長より参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の堀田和郎氏を紹介された。
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者は以下の通り
東電タウンプランニング㈱ 監査役 金子 史彦氏
東日本高速道路㈱ 監査役 黒田 泰則氏
 - 2) 講義
午後2時4分より、講師が自己紹介を行った後、資料に従い講義が行われた。途中3時10分から10分間の休憩時間を挟み、3時20分から再び資料に沿って講義が行われ、4時28分に講義が終了した。
 - 3) 質疑応答および意見交換等
講義を終了したのち、出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が活発に行われた。質疑応答および意見交換の要旨は以下の通り
 - ・コロナ禍における留意事項はいつからマニュアルに反映したのか
 - ・監査役として事業リスクを把握する方法は実務マニュアルに記載されているか
 - ・オンラインを活用した監査業務のメリット、デメリット

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行うとともに、次回の監査技術ゼミは2023年1月31日(水)に開催予定の旨案内した後、午後4時50分に閉会となった。

以上